

第 21 回中国地区大学男子ソフトボール選手権大会 2日目

会場: 広島県尾道市御調ソフトボール場

会期: 2021/11/14

A チーム

準決勝 A 会場 14:04~

広島経済大学 0001 1

環太平洋大学 A 156× 12(規定により4回コールドゲーム)

経: 藤井 — 武田

環: 安藝(3回)、下垣内(1回) — 岩松

本塁打: 谷口ま

戦評

1 回裏 1 死から 2 番末田が内野安打で出塁、3 番福山が四球を選び 1 死 1、2 塁から 4 番谷口まが 1-2 からレフト前にタイムリーヒットで 1 点を先制。2 回には 2 死から 9 番竹本が四球で出塁。ここから 1 番山本、2 番末田、3 番福山の連続ヒットで 3 点を追加して 4-0。続く 4 番谷口まが 3-2 から豪快に右中間スタンドへツーランホームラン叩き込み 6-0 とリードを広げる。3 回には 4 つの四球とヒット 3 本を集めて一挙 6 点を奪い 12-0。守っては先発安藝が 3 回を 8 奪三振の好投で下垣内にスイッチし守備の乱れによる 1 失点に抑えて 4 回 10 点差、規定によりコールドゲームで決勝にコマを進めた。

B チーム

準決勝 A 会場 10:55～

環太平洋大学 B 2 2 2 2 4 12

広島国際学院大学 0 0 2 1 0 3(規定により 5 回コールドゲーム)

環:土井(3 回)、井上ゆ(1 回)、奥間(1 回) — 與儀

国:糸谷(4 回)堀(1 回) — 小路

本塁打:轉法輪、高草(以上環)

三塁打:與儀②(環)、内村(国)

二塁打:植田(環)、堀、大谷(以上国)

戦評

環太平洋大学は初回 1 番轉法輪が 2-1 からレフトスタンドへ先頭打者ホームランで先制。2 番井上ゆが四球で出塁。盗塁で 2 塁に進み 2 死と 2 塁から 5 番植田が投手強襲のタイムリーでこの回 2 点を先制した。

2 回には 7 番大西、8 番松田、9 番竹吉の 3 連打で 1 点を奪い 2 番井上ゆがレフトに犠飛を上げて 4-0 とリードを広げた。

3 回、先頭の 5 番植田がセンターへ好走塁でツーベースヒット。6 番與儀が 0-2 から右中間を破るタイムリースリーベースヒット、次打者の内野ゴロの間に與儀が生還し 6 点目。続く 4 回は 2 死から 4 番高草がレフトスタンドへソロホームラン。続く 5 番植田が内野失策で出塁し 6 番與儀が 2 打席連続となるタイムリースリーベースヒットで 8 点目。

5 回、この回先頭の 8 番代打平野が四球、1 死後 1 番轉法輪が死球で繋ぎ 1 死 1、2 塁から 2 番井上ゆがセンター前にタイムリーヒット、続く 3 番奥間も 1-0 からライト前にタイムリー。2 死となったが 2、3 塁から 5 番植田が 2-2 からレフト前にタイムリーヒットでこの回 4 点を奪い 12 点目。

守っては、先発土井が 3 回を 2 失点、代わった井上ゆ、奥間もそれぞれ反撃を 1 失点に抑えて規定により 5 回コールドゲームとなって決勝に進んだ。

決勝戦 A 会場 12:55～

環太平洋大学 B 1 0 1 0 0 2

環太平洋大学 A 0 0 0 0 3 3(規定により時間切れ)

B: 濱渦(4 回)、福德(1 回) — 與儀

A: 安藝(5 回) — 岩松

三塁打: 轉法輪(環)

二塁打: 奥間、宮崎(以上環)

戦評

B チーム先頭 1 番轉法輪が 2-0 から右中間を深々と破るスリーベースヒットでチャンスメイク。

1 死から 3 番植田が死球で 1、3 塁、4 番高草の内野ゴロの間に轉法輪が生還し 1-0。

3 回には 4 番高草が四球、5 番奥間が左中間のツーベースを放ち無死 2、3 塁のチャンス。2 死となって 8 番松田が 1-2 から投手ゴロ、ジャンプ一塁でキャッチしたかに思えたがボールがこぼれ 2-0 と B チームがリード。

2 点を追いかける A チームは、5 回裏代わった福德に大城がライト前、末田が三遊間を破り続く柴田が四球を選び満塁として、宮崎がライトオーバーの走者一掃のタイムリーツーベースヒットでさよならゲームとなった。

IPU 同士の試合は他の中国地区の大学からは注目を集め、インカレの上位戦のようなハイレベルの内容で良い試合となった。